

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	地方独立行政法人運営費負担金支出事業		
部局名	企画部	課(室)名	企画広報課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	04 衛生費
施策	02 地域医療を充実する	項	01 保健衛生費
期間	平成23年度～ 永年	目	01 衛生総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005 地方独立行政法人運営費負担金支出事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	地方独立行政法人法第85条、地方公営企業繰出基準等		

【現状と課題】

現状と課題	平成25年度までの財政措置とされていた病院の再編等に係る有利な地方交付税措置が、平成26年度も継続されることとなったが、追加出資については、法人の経営状況や市の財政状況を踏まえ、検討する必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
地方独立行政法人加古川市民病院機構	地方公営企業繰出基準に基づき、施設整備や救急医療等に係る不採算経費について運営費負担金を支出するほか、新統合病院建設整備等に要する費用の一部を出資する。	公的病院として救急医療や高度医療を安定的に提供できる。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
地方独立行政法人加古川市民病院機構	団体		1	1		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
運営費負担金支出率	%		100	100		
出資金支出率	%		100	100		

活動指標分析結果	法人の経営健全化及び財務基盤強化を図り、公的病院として安定した医療提供を行うため、法人に対し確実に支出した。		
事業費	千円	2,188,490	1,683,364

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
市民病院開院日数(2次救急医療施設)	日			365	365	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			365	365		
入院受入体制確保日数(高度医療)	日			365	365	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			365	365		
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	不採算経費に対する運営費負担金支出、設計や用地取得など(仮称)加古川中央市民病院建設整備費等に対する出資により、法人の経営健全化及び財務基盤強化が図られ、公的病院として救急医療及び高度医療が安定的に提供された。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要がありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
現在の2病院、平成28年秋開院予定の(仮称)加古川中央市民病院は、公的病院として救急医療や高度医療等を安定的に提供できる体制が必要であることから、法人の経営健全化を図るための不採算経費等に対する運営費負担金の支出は必要である。より効率的・効果的に運営できる地方独立行政法人のメリットを最大限に活かし、自立経営が図られることで運営費負担金支出額の圧縮は可能と考えられるが、現在は(仮称)加古川中央市民病院建設整備を推進している過渡期であることから、病院運営が安定するまでは運営費負担金の水準を維持していくことが必要である。	

※事業費と財源内訳

決算額	1,683,364	内訳	国費	県費	市債	341,600	他	一般	1,341,764
-----	-----------	----	----	----	----	---------	---	----	-----------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	病院統合・再編事業		
部局名	企画部	課(室)名	企画広報課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	02 総務費
施策	02 地域医療を充実する	項	01 総務管理費
期間	平成22年度～平成28年度	目	07 企画費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	045 病院統合・再編事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	地方独立行政法人加古川市民病院機構活性化協議会及び活性化委員会設置要綱		

【現状と課題】

現状と課題	法人による自主的かつ自立的な運営により、医師等の確保が進み、2病院体制における医療の充実が図られている。また、平成25年度は(仮称)加古川中央市民病院の設計や建築工事着工など、平成28年秋の開院に向けて順調に進捗している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
●地方独立行政法人加古川市民病院機構 ●加古川市民	●地方独立行政法人加古川市民病院機構活性化協議会及び活性化委員会の開催 ●地域医療を考えるシンポジウムの開催	●地方独立行政法人加古川市民病院機構の運営の活性化を図るとともに、(仮称)加古川中央市民病院の整備を円滑に進める。●シンポジウムを開催し、住民に対して医療機関の役割に応じた適正受診の必要性等について啓発を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
地方独立行政法人加古川市民病院機構	団体		1	1		
加古川市人口(4/1付推計人口)	人		268,038	268,001		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
活性化協議会開催回数	回		1	1		
活性化委員会開催回数	回		1	1		
シンポジウム開催回数	回		1	1		
活動指標分析結果	平成25年度は、活性化協議会及び活性化委員会において新統合病院の基本設計及び名称(案)について審議し、事前説明も含めて必要な回数を実施できた。またシンポジウムについては、限られた予算の中で1回開催したものであり、適切な開催回数である。					
事業費	千円		3,143	757		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
新統合病院建設整備率(各年度)	%		100	100	100	平成28年度
上段:計画値/下段:実績値			100	100		
シンポジウム参加者数	人		800	130	100	平成25年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	(仮称)加古川中央市民病院建設整備については、平成28年秋の開院に向けて、平成25年度は設計や建築工事着工など、スケジュールどおり進捗している。また、シンポジウムについては、小規模開催の特徴を活かし、医療現場の取組や対象を絞るなど、より身近な内容とし、計画値を上回る130人の参加を得ることができた。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
活性化協議会及び活性化委員会の意見を踏まえ、新統合病院建設整備はスケジュールどおり進捗している。またシンポジウムを開催し、適正受診の必要性等の啓発を行うことで、医療機関、行政だけでなく住民も地域医療を守り支える一員であることを認識していただけの機会となっている。なお、跡地利用については、幅広い選択肢の中から市民にとって最も有用な活用策となるよう具体的に検討を進めていく。	

※事業費と財源内訳

決算額	757	内訳	国費	県費	市債	他	一般	757
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	評価委員会運営事業		
部局名	企画部	課(室)名	企画広報課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	04 衛生費
施策	02 地域医療を充実する	項	01 保健衛生費
期間	平成22年度～永年	目	01 衛生総務費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	006 地方独立行政法人評価委員会運営事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	加古川市民病院機構評価委員会条例、地方独立行政法人法第11条		

【現状と課題】

現状と課題	地方独立行政法人による自主的かつ自律的な運営により、医師等の確保が進み、2つの市民病院の医療の充実が図られている。また、統合のメリットを活かす(仮称)加古川中央市民病院の建設整備が進められている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会	地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会の事務を補助する。	地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会の業務実績評価等、所掌事務が適切に行われている。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度
地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会委	人	5	5	5

活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
評価委員会委員への説明実施回数	回		26	15		

活動指標分析結果 平成25年度は会議資料や評価方法等の一部見直しにより、評価委員会開催回数が減ったことから、説明実施回数が減少したものであり、適当と考える。

事業費	千円	278	805	544
-----	----	-----	-----	-----

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
年度評価に対する評価委員会意見数 上段:計画値/下段:実績値	件		91	114	100	平成27年度
年度評価に対する評価委員会開催回数 上段:計画値/下段:実績値	回		4	3	3	平成27年度

成果指標分析結果 開催回数は減少したものの、事前説明や説明資料を充実させたことにより、年度評価に対し、活発な議論が行われた結果、意見数も増加した。

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的の事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 法定のため事業実施は必須である。
--

※事業費と財源内訳

決算額	544	内訳	国費	県費	市債	他	一般	544
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	病院施設整備等資金貸付事業		
部局名	企画部	課(室)名	企画広報課

【基本情報】

基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして	会計	15病院事業債管理事業特別会計
政策	02健康づくりや地域医療を充実する	款	01病院事業資金
施策	02地域医療を充実する	項	01病院事業資金
期間	平成23年度～永年	目	01病院事業資金貸付金
事業区分	⑦投資事業	細目	005病院施設整備等資金貸付事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	地方独立行政法人法第41条第5項		

【現状と課題】

現状と課題	医療機器など通常の施設整備に加え、平成25年度は(仮称)加古川中央市民病院の設計や水路付替、建築工事着工のための地下構造物撤去など、平成28年秋の開院に向けて順調に進捗している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
地方独立行政法人加古川市民病院機構	法人が行う施設整備等資金について、市債を発行し、法人に貸し付ける。	安定的な資金調達により、医療機器の購入や(仮称)加古川中央市民病院建設整備等が可能になる。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
地方独立行政法人加古川市民病院機構	団体		1	1		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
貸付金支出率	%		100	100		

活動指標分析結果	病院施設等整備に係る一時的に増大する経費について、法人の借入要望額どおりに貸付を行った。					
事業費	千円		2,358,500	1,162,600		

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
病院施設等整備率(各年度)	%			100	100	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			100	100		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	病院施設等整備に必要な資金調達ができたことにより、法人の経営健全化が図られ、医療機器の更新のほか、設計や建築工事着工など(仮称)加古川中央市民病院建設整備がスケジュールどおり進捗している。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 法人の唯一の資金調達手段として、安定的に借入れることができ、返済金を後年度に平準化できること、また、一部は地方交付税措置があることから、法人の経営健全化だけでなく、市財政における財源確保の面からも貸付は有効である。特に(仮称)加古川中央市民病院建設整備については、スケジュールどおり進捗するよう貸付を行う必要がある。
--

※事業費と財源内訳

決算額	1,162,600	内訳	国費	県費	市債	1,162,600	他	一般
-----	-----------	----	----	----	----	-----------	---	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	救急医療事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	04 衛生費
施策	02 地域医療を充実する	項	01 保健衛生費
期間	昭和39年度～永年	目	01 衛生総務費
事業区分	④義務的施策事業	細目	015 救急医療事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	休日の一次救急及び二次救急については、継続して体制支援を行っており、電話相談事業については、利用率の伸び悩みがあり、停滞状況に陥っている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
休日・夜間帯に容態が悪くなり、救急処置の必要がある住民。	休日の一次救急、二次救急を実施するため、加古川医師会及び各医療機関等の協力のもと、輪番制等による体制を支援する。また、小児を対象とする夜間帯の電話相談体制を実施する。	休日・夜間帯に容態が悪くなった患者の初期対応を行うことで、重症化の防止及び生命の維持に繋げる。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		25,969	25,466		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	救急医療事業は生命を守る重要な事業であり、現行の水準を維持しながら、事業を継続していくべきであると考えているが、一次救急の定着化や電話相談事業の利用率向上など、より事業が充実するよう、手段等を検討する必要がある。
--	--

※事業費と財源内訳

決算額	25,466	内訳	国費	県費	市債	他	149	一般	25,317
-----	--------	----	----	----	----	---	-----	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	(財)東播臨海救急医療協会補助事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして	会計	12夜間急病医療事業特別会計
政策	02健康づくりや地域医療を充実する	款	01夜間急病医療事業費
施策	02地域医療を充実する	項	01夜間急病医療事業費
期間	昭和55年度～永年	目	01夜間急病医療事業費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	015(公財)東播臨海救急医療協会補助事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	平成18年度より、指定管理者制度を導入し、東播臨海救急医療協会を指定管理者とし、運営を委託している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川夜間急病センターを利用する、2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民。	東播臨海地区の夜間帯における一次救急、二次救急を円滑に行うため、加古川夜間急病センターの管理・運営に要する職員人件費を補助する。	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
夜間急病医療事業特別会計歳出	千円		278,095	282,997		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
東播臨海救急医療協会補助費	千円		170,453	170,188		
活動指標分析結果	人件費の性質上、増加傾向にあるものの、平成25年度においては、定年退職者がいたため、職員の若年化により、一時的に減少している。					
事業費	千円		170,453	170,188		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
夜間急病センター利用者数	人			12,360	12,000	平成27年度
			12,360	11,805		
成果指標分析結果	救急医療ということもあり、概ね同水準で推移している。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的の事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
夜間帯における救急医療体制の充実、必要不可欠なものであり、夜間急病センターを管理・運営することは、行政が行う事業として妥当なものとする。

※事業費と財源内訳

決算額	170,188	内訳	国費	県費	市債	他	170,188	一般
-----	---------	----	----	----	----	---	---------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病センター管理運営事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	12 夜間急病医療事業特別会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	01 夜間急病医療事業費
施策	02 地域医療を充実する	項	01 夜間急病医療事業費
期間	昭和55年度～永年	目	01 夜間急病医療事業費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010 夜間急病医療事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	加古川夜間急病センターの設置及び管理に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	平成18年度より、指定管理者制度を導入し、東播臨海救急医療協会を指定管理者とし、運営を委託している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川夜間急病センターを利用する、2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民。	東播臨海地区の夜間帯における一次救急、二次救急を円滑に行うため、東播臨海救急医療協会に対し、加古川夜間急病センターの管理・運営に対する業務委託を行う。	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
夜間急病医療事業特別会計歳出	千円		278,095	282,997		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
夜間急病センター管理運営費	千円		107,642	108,788		
活動指標分析結果	年度によって医薬材料費等の消耗が異なるため、年度間での変動が大きい。平成25年度においては、電気代の値上げにより水道光熱費が増加している。					
事業費	千円		107,642	108,788		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
夜間急病センター利用者数	人			12,360	12,000	平成27年度
			12,360	11,805		
成果指標分析結果	救急医療ということもあり、概ね同水準で推移している。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的業務
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
夜間帯における救急医療体制の充実、必要不可欠なものであり、加古川夜間急病センターを管理・運営することは、行政が行う事業として妥当なものとする。

※事業費と財源内訳

決算額	108,788	内訳	国費	県費	市債	他	108,788	一般
-----	---------	----	----	----	----	---	---------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター管理運営事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	13 歯科保健センター事業特別会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	01 歯科保健センター事業費
施策	02 地域医療を充実する	項	01 歯科保健センター事業費
期間	平成7年度～永年	目	01 歯科保健センター事業費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010 歯科保健センター事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	加古川歯科保健センターの設置及び管理に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	設立より20年近くが経過しており、施設や備品の老朽化による修繕が増加傾向にある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川歯科保健センターを利用する、2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民。	休日・障がい者診療を円滑に行うため、加古川歯科保健協会に対し、加古川歯科保健センターの管理・運営に対する業務委託を行う。	加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日・障がい者診療の充実を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
歯科保健センター事業特別会計歳出	千円		79,569	80,853		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
歯科保健センター管理運営費	千円		72,918	74,290		

活動指標分析結果	全身麻酔下による障がい者歯科診療の開始に伴い、事業規模が拡大しており、増加傾向にある。					
事業費	千円		72,918	74,290		

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
歯科保健センター休日診療利用者数	人			1,275	1,300	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			1,275	1,184		
歯科保健センター障がい者診療利用者数	人			2,322	2,700	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			2,677	2,874		
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	休日診療を行う診療所の増加に伴い、加古川歯科保健センターにおける休日診療の利用者数は減少傾向にある。また、障がい者診療の利用者数については、微増傾向にある。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的業務
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであり、加古川歯科保健センターを管理・運営することは、行政が行う事業として妥当なものとする。	

※事業費と財源内訳

決算額	74,290	内訳	国費	県費	市債	他	74,290	一般
-----	--------	----	----	----	----	---	--------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病医療事業特別会計繰出事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	04 衛生費
施策	02 地域医療を充実する	項	01 保健衛生費
期間	昭和55年度～永年	目	01 衛生総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	025 保健衛生事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	繰出金の負担額に変動はあるものの、継続して支援を行っている。
-------	--------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
加古川夜間急病センターを利用する、2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民。	加古川夜間急病センターを運営する夜間急病医療事業特別会計における歳入不足額を、繰出金として支出する。				加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
夜間急病医療事業特別会計歳出	千円		278,095	282,997		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
夜間急病医療事業特別会計繰出金	千円		77,086	77,048		
活動指標分析結果	事業内容の精査により、減少傾向にある。					
事業費	千円		77,086	77,048		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
夜間急病センター利用者数	人			12,360	12,000	平成27年度
			12,360	11,805		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	救急医療ということもあり、概ね同水準で推移している。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的の事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
夜間帯における救急医療体制の充実、必要不可欠なものであり、その財政的基盤である夜間急病医療事業特別会計における歳入不足額を支援することは、行政が行う事業として妥当なものとする。

※事業費と財源内訳

決算額	77,048	内訳	国費	県費	市債	他	一般	77,048
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	東播臨海小児科救急病院負担事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02健康づくりや地域医療を充実する	款	04衛生費
施策	02地域医療を充実する	項	01保健衛生費
期間	平成12年度～永年	目	01衛生総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	035東播臨海小児科救急病院負担金交付事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	当番病院の交代等はあるものの、365日体制で運営を維持している。
-------	----------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
休日・夜間帯に容態が悪くなり、二次救急処置の必要がある東播臨海地域3市2町(加古川市、稲美町、播磨町、高砂市及び明石市)の小児。	輪番制で当番となっている5病院(明石市立市民病院、明石医療センター、加古川西市民病院、加古川東市民病院、高砂西部病院)に対し、運営に要する費用を負担金として支出する。	休日・夜間帯に容態が悪くなり、二次救急処置が必要となった小児に対し、迅速な対応を行うことで、重症化の防止や生命維持を支援する。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
東播臨海小児科救急病院3市2町負担費	千円		73,032	75,540		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
東播臨海小児科救急病院負担費	千円		24,709	25,307		

活動指標分析結果	平日と休日の単価が異なるため、年間日数の割合に応じて負担金変動する。また、明石地域の病院(明石市立市民病院及び明石医療センター)の当番日数により変動する場合もあるが、ともに大幅な増減要素は少ない。					
事業費	千円		24,709	25,307		

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
小児二次救急利用者数	人			5,235	5,200	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			5,235	5,200		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	救急医療ということもあり、概ね同水準で推移している。
----------	----------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的の事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
容態の変化しやすい小児の二次救急医療体制の充実、必要不可欠なものであり、体制を維持するための支援を行うことは、行政が行う事業として妥当なものとする。

※事業費と財源内訳

決算額	25,307	内訳	国費	県費	11,082	市債	他	一般	14,225
-----	--------	----	----	----	--------	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病センター施設整備事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	12 夜間急病医療事業特別会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	01 夜間急病医療事業費
施策	02 地域医療を充実する	項	01 夜間急病医療事業費
期間	昭和55年度～永年	目	01 夜間急病医療事業費
事業区分	⑦投資事業	細目	005 夜間急病センター施設整備事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	加古川夜間急病センターの設置及び管理に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	設立より40年近くが経過しており、施設や備品の老朽化が著しく、頻繁な修繕等が必要となっている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川夜間急病センターを利用する、2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民。	東播臨海地区の夜間帯における一次救急、二次救急を円滑に行うため、加古川夜間急病センターの施設、設備及び診療機器の整備を行う。	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
夜間急病医療事業特別会計歳出	千円			282,997		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
夜間急病センター施設整備費	千円			4,022		

活動指標分析結果	医療機器の入れ替え等により、年度間での変動が大きい傾向にある。					
事業費	千円			4,022		

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
夜間急病センター利用者数	人				12,000	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値					11,805	
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	救急医療ということもあり、概ね同水準で維持している。
----------	----------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的の事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
夜間帯における救急医療体制の充実、必要不可欠なものであり、加古川夜間急病センターの設備や診療機器等の整備を行い、健全な管理・運営をすることは、行政が行う事業として妥当なものとする。

※事業費と財源内訳

決算額	4,022	内訳	国費	県費	市債	他	4,022	一般
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター施設整備事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	0 1 安心して暮らせるまちをめざして	会計	1 3 歯科保健センター事業特別会計
政策	0 2 健康づくりや地域医療を充実する	款	0 1 歯科保健センター事業費
施策	0 2 地域医療を充実する	項	0 1 歯科保健センター事業費
期間	平成7年度～永年	目	0 1 歯科保健センター事業費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 0 5 歯科保健センター施設整備事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	加古川歯科保健センターの設置及び管理に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	設立より20年近くが経過しており、施設や備品の老朽化による修繕が増加傾向にある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川歯科保健センターを利用する、2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民。	休日・障がい者診療を円滑に行うため、加古川歯科保健センターの施設、設備及び診療機器の整備を行う。	加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日・障がい者診療の充実を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
歯科保健センター事業特別会計歳出	千円		79,569	80,853		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
歯科保健センター施設整備費	千円		368	279		

活動指標分析結果	診療機器の更新については、整備計画に基づき順次行っているため、年度間での変動が大きい傾向にある。平成26年度に購入予定としていた高額機器については、平成27年度に購入するよう変更している。					
事業費	千円		368	279		

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
歯科保健センター休日診療利用者数	人			1,275	1,300	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			1,275	1,184		
歯科保健センター障がい者診療利用者数	人			2,322	2,700	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			2,677	2,874		
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	休日診療を行う診療所の増加に伴い、加古川歯科保健センターにおける休日診療の利用者数は減少傾向にある。また、障がい者診療の利用者数については、微増傾向にある。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的の事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであり、加古川歯科保健センターの設備や診療機器等の整備を行い、健全な管理・運営をすることは、行政が行う事業として妥当なものとする。	

※事業費と財源内訳

決算額	279	内訳	国費	県費	市債	他	279	一般
-----	-----	----	----	----	----	---	-----	----